

身体障がいのある方で、事前に使用する車両等を特定しない申請の記載要領

別記様式第一の三（第五条関係）

<p style="font-size: 1.2em;">通行禁止道路通行許可申請書</p> <p style="font-size: 1.5em; color: red;">見本</p> <p style="font-size: 1.2em;">① 年 月 日</p> <p style="font-size: 1.2em;">② 警察署長殿</p> <p style="font-size: 1.1em;">申請者 住所 氏名 ③ 電話番号</p> <p style="font-size: 1.1em;">主たる住所 氏名 ④</p>					
車両の種類	⑤	番号標に表示されている番号	⑥		
運転の期間	⑦ 年 月 日 時から 年 月 日 時まで				
通行しようとする通行禁止道路の区間	⑧				
やむを得ない理由	⑨				
第 号	<p style="color: red; font-weight: bold;">以下は、警察署が記載します。</p> <p style="font-size: 1.2em;">通行禁止道路通行許可証</p> <p style="font-size: 0.9em;">上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 80px; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">条 件</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">警察署長 印</p>			条 件	
条 件					

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

【記載要領】

通行禁止道路の通行許可申請は、通常、事前に使用する車両及び主たる運転者を特定して申請することとなっておりますが、歩行が困難な程度に身体障がいのある方がタクシー等を利用して通院するなど、事前に使用する車両及び主たる運転者を特定できないやむを得ない理由がある場合は、その車両及び運転者を特定することなく申請することができます。

通行禁止道路通行許可申請書は、**2部**作成してください。

なお、消すことができるペンを使用して記載することはできません。

- ① 申請書の提出日を記載します。
- ② 通行しようとする通行禁止道路を管轄する警察署名を記載します。
- ③ 身体障がいのある方の住所、氏名、電話番号を記載します。
- ④ 氏名欄に「〇〇〇〇（身体障がいのある方の氏名）が乗車する車両の運転者」と記載します。
 - ※ 身体障がいのある方が「福岡太郎」さんである場合
→ 福岡太郎が乗車する車両の運転者
- ⑤ 記載不要です。
- ⑥ 「〇〇〇〇（身体障がいのある方の氏名）が乗車する車両」と記載します。
 - ※ 身体障がいのある方が「福岡太郎」さんである場合
→ 福岡太郎が乗車する車両
- ⑦ 実際に許可を必要とする最小限度の期間を記載します。
 - ※ 交通状況等によっては、警察署において期間を指定させていただく場合があります。
- ⑧ 実際に許可を必要とする区間、区域又は場所の所在地を記載します。
 - 例：〇〇市〇〇町〇〇番地先から〇〇市〇〇町〇〇番地先まで
- ⑨ 「身体障害のある者の輸送（これに付随する通行を含む。）」と記載します。

申請の際は、申請者が「歩行が困難な程度に身体障がいのある者」であることを疎明する書類（身体障害者手帳、医師の診断書等（写し可））をご用意ください。

その他ご不明な点があれば、②の交通課にお問い合わせください。